

冬に多発！ノロウイルス 食中毒にご注意

昨年、全国で発生した食中毒患者の約6割は、ノロウイルスを原因とするものでした。ノロウイルスによる腸炎は1年を通して発生しますが、特に冬季に流行します。

ノロウイルスは感染力が非常に強く、少量でも手指や食品などを介して口から感染します。ノロウイルス食中毒の多くは、ノロウイルスに感染した調理人が食品を汚染させたことが原因で発生しているため、調理の際には特に注意が必要です。

○症状

・原因となる食品を食べてから症状が出るまでの期間は1～2日。

・主症状は、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛

○予防方法

「手洗い」…調理前、トイレ後や帰宅後、食事前は石けんを使って手を洗い、よくすすぎましょう。感染しても症状が出ない方もいますので、症状がなくてもしっかりと手を洗いましょう。

「加熱」…食品の中心部が85～90℃で90秒以上となるように加熱しましょう。特に力キなどの二枚貝にはノロウイルスが蓄積していることが

あるため十分な加熱が必要です。

「消毒」…調理器具やふきんなどは煮沸か塩素系漂白剤に漬け込んで消毒しましょう。



詳しくはこちら

問Ⅱ大阪府池田保健所 衛生課
751・2990

11月11日は「介護の日」 みんなで考えよう介護について

大阪府では、11月11日「介護の日」に大阪城天守閣、太陽の塔などでブルーライトアップを実施します！

そのほか、介護の魅力発信イベント

（謎解きイベント）も開催！この機会に、私たちの生活に身近な「介護」について、理解や認識を深めてみませんか。

①介護の日のブルーライトアップ

時Ⅱ11月11日（火）日没～

所Ⅱ大阪城天守閣・太陽の塔・天保山大観覧車等

②介護の魅力発信イベント（謎解きイベント）

時Ⅱ11月29日（土）午前10時半～

所Ⅱあべのキューズモール

問Ⅱ大阪府福祉部地域福祉推進室福祉人材法人指導課人材確保グループ

06・6944・0286

安全・生活

放火防止対策について

「放火」および「放火の疑い」による火災は、全国的に火災原因の上位を占めています。放火を減らすためには、住民の皆さま自らが、放火をされない環境を作ることが大切です。放火予防のために特に次の点に注意してください。

・ごみは収集日の前日（前夜）から出さない

・家の周りに燃えやすいもの（ダンボールや新聞紙など）を置かない
・玄関灯や門灯をつけて家の周りを明るくする

・ポストに郵便物などをためない

・車やバイクのカバーは燃えにくい防炎品を使う

・空き家、車庫、物置などは施錠する

火災を発見したら大きな声で周りに知らせ、119番へ通報してください。

問Ⅱ豊能消防署

736・0119

秋の全国火災予防運動 11月9日～15日

「急ぐ日も 足止め 火を止め 準備よし」

11月は空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節になることから、秋の全国火災予防運動が「119番の日」の11月9日（日）～15日（土）に実施されます。この運動の目的は、住民の皆さまに防火の意識を高めていただき、火災による死傷者を無くし、財産の損失を防ぐことです。



詳しくはこちら

問Ⅱ豊能消防署

736・0119

11月9日は119番の日

「119番」は火災に見舞われたときや、救急要請が必要な場合の緊急通報用電話です。

いざというときは、次のことに注意して、慌てず落ち着いて正確に通報してください。

①「火事」または「救急」と、はっきり伝える

②住所・場所を正確に伝える（外出先などで場所が分からない場合は、